



日華の乾燥装置（ロータリーコイルドライヤー）

概要

ロータリーコイルドライヤー(RCD)は、円筒形の本体の中で蒸気加熱されたコイル・パドルの回転により処理物を破碎し、表面積を広げながら加熱を行う事で、処理物を乾燥・減容させる間接加熱型の乾燥機です。

メリット

- 僅かなキャリアアエアで乾燥を行う→排気風量が少ない→熱効率が良い。
- 回転型乾燥機の中では適用範囲が広く、処理対象物の条件に応じて、連続式、バッチ式、連続2段式などバリエーションが豊富です。

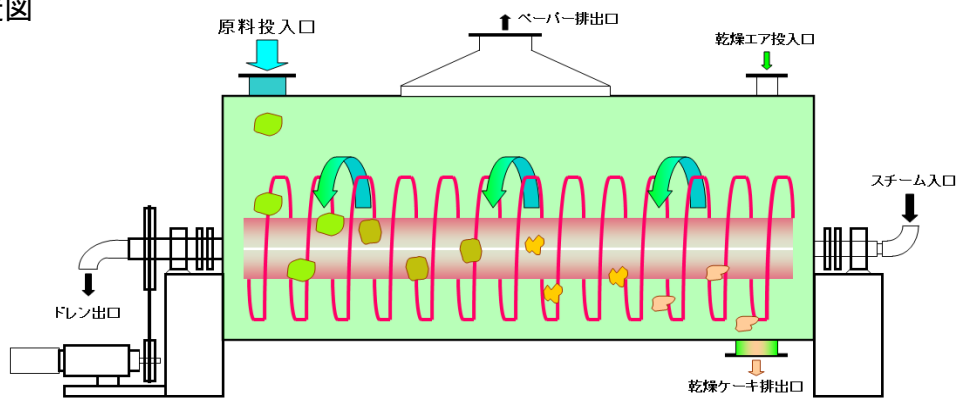
処理対象物

無機及び有機の汚泥や、珈琲粕、茶粕等の乾燥が可能です。加熱面にスケーリングを起こすもの、加熱・攪拌すると増粘してダンゴ状になるもの(芋類・でんぷんetc)は、構造上、乾燥が困難です。

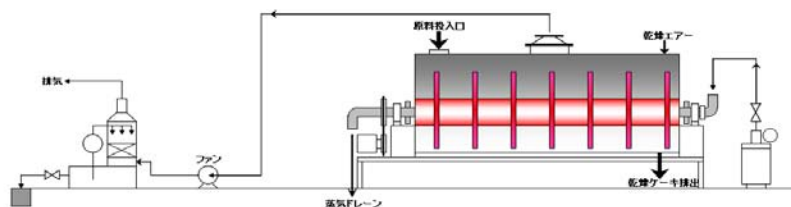
付属機器

投入ホッパー及びスクルーフィーダー、スクラパー、脱臭装置等、最適なものを提案致します。

本体構造図



標準フロー図



標準機種（下記は一例ですので、実際にはユーザー個別対応となります。）

型式	仕様	使用動力(kw)	パドル径(mm)	設置面積(mm)	本体機長(mm)	処理量(kg/hr)
RCD-50		3.7 kw	φ 500mm	1,000mm × 2,500mm	2,000mmL	50 kg/hr
RCD-100		5.5 kw	φ 650mm	1,200mm × 4,000mm	3,200mmL	100 kg/hr
RCD-400		7.5 kw	φ 800mm	1,500mm × 5,000mm	4,200mmL	400 kg/hr
RCD-600		11 kw	φ 1,200mm	2,000mm × 5,500mm	4,500mmL	600 kg/hr

日華環工株式会社

北九州市戸畑区中原新町2-1北九州テクノセンター9F

TEL: 093-873-1602 FAX: 093-873-1603 E-mail: jpoffice@nikkae.com